

ウクライナ		首都 キエフ
青と黄の 2 色の旗は「独立ウクライナの旗」といわれている。 独立：1991/8/24 ソビエト連邦より 国連加盟：1945/10/24 政体：共和制	国土	面積 60 万 4,000 km ² (日本の1. 6倍) 黒海の北に広がる平原の国で、中央部はドニエストル川が貫流する大平原で肥沃な黒土地帯である。東部はドネツ丘陵、西部はカルパティア山脈へ続く高地があり、南はクリミア半島が黒海に突き出している。
	人口	4,650 万人
	言語	ウクライナ語（公用語）、ロシア語
	通貨	ユーロを取り入れているが、通常はグリブニヤ（グリブナ）を使っている。
	気候	全般に穏やかな大陸性気候、大西洋の影響を受け雨量が多く、土壌が肥沃なため、植物が豊かである。南部は温暖で特にクリミア半島はリゾート地として名高い。北上するにつれて気温差が大きくなり、冬の寒さが厳しくなる。
	民族	ウクライナ人 73%、ロシア人 22%、ユダヤ人 1%
	宗教	ウクライナ正教、ウクライナカトリックプロテstant、ユダヤ教
教育制度の概要	学校体系	・小学校 3 年、中学校 5 年、高校 3 年、大学 5 年である。
	義務教育	・6 歳（第 1 学年）から 17 歳（第 11 学年）の 11 年間である。 ・その年の 9 月 1 日までに満 6 歳になる者は、その年の 9 月 1 日に義務教育の第 1 学年に入学する。 ・授業料は無料である。
	日本と比較した教育課程上の特徴	・学校年度は 9 月 1 日から翌年の 5 月 31 日までである。 ・4 学期制を採っており、1 学期は 9 月 1 日～10 月 31 日、2 学期は 11 月 1 日～12 月 29 日、3 学期は 1 月 11 日～3 月 24 日、4 学期：4 月 11 日～5 月 31 日、という状況になっている。 ・授業は月～金曜日で、必須科目はウクライナ語のほか、情報学、経済学など社会に出てすぐに役立つ科目が早くから教えられている。 ・ウクライナ伝統文化（民族舞踊、歌、料理、祝日の祝い方など）は必須科目となっている。

		・英語は 1 年生から必須科目で、ロシア語は選択科目となっている。
	義務教育後の教育	・義務教育を終えると、普通学校と専門学校のどちらかを選択できる。 ・入学試験を受けて大学に進学する。首都キエフでの大学進学率は 50% 程度である。
	就学前教育	・国立と私立の機関があり、国語、音楽、体育などを習う。私立では外国語も教える。
学校生活	休業期間	・3 月末に 1 週間の春休み、6~8 月に 3 カ月間の夏休み、12 月末~1 月に約 2 週間の冬休みがある。
	保護者の授業参観、保護者会、P T A	・両親と学校の役割は五分五分で、学校には全体両親委員会、各クラスにも両親委員会がある。月に 1 度、両親の集会では、子どものことについて先生と話し合う。
	子どもの一日	・放課後は、4~9 年生は絵画、折り紙、舞踊などのクラブ活動に参加したり、近くにあるスポーツ施設で水泳やテニスを楽しんだりしている。10~11 年生の多くは家計を助けるため、売り子などのアルバイトをしている。週末は、ダーチャと呼ばれる郊外の別荘で、農作業をする両親を手伝う。
生活習慣等	交通規則の違い	・地下鉄、電車、トロリーバス、バスが走っている。
	その他	・日本に対する関心はとても高いが、地理などで学ぶ以外はあまり多くの情報が得られないようである。広島と長崎に原爆が落とされたということは知っている。日本人は非常に勤勉だという印象を持っている。

＜参考資料＞

- ・世界の国々 外務省
- ・世界の学校を見てみよう！（キッズ外務省） 外務省
- ・諸外国の教育情報 外務省
- ・世界の国々 アトラス
- ・ジュニア世界の国旗図鑑 平凡社
- ・ウクライナの文化を知ろう 東久留米市市民のページ